

左京
革新懇

総会 & 学習講演会

講演の前 1:50~

オカリナグループ「野の花」によるミニミニコンサート

5月18日(土) 午後2:00~

場所 教育文化センター101号室

講演 「原発からの命の守り方

—能登半島地震と珠洲・志賀原発、
そして福島原発事故13年を踏まえて—

お話

守田敏也 さん



高浜・大飯原発の50km圏内に

左京区の半分以上が含まれる。

京都市民は琵琶湖の水を飲んでいる。

志賀原発は運転停止中であつたために過酷事故を免れたが、
福井県若狭湾の原発も 能登半島地震と危険度は同等。

同志社大学社会的共通資本研究センター (宇澤弘文教授主宰) の
客員フェローなどを経て、現在はフリーライター。

兵庫県・丹波篠山市原子力災害対策検討委員、滋賀県・米原の原子力防災を
考える市民委員会アドバイザーを兼ねる。福島原発事故後、被曝地を度々訪
問。各地で放射線防護と原子力災害対策の講演を行い、丹波篠山市では安定
ヨウ素剤事前配布を実現。欧米やアジア各地でも講演し、安倍政権が原発輸
出を狙ったトルコに4回訪問して輸出ストップに貢献。

共著に『内部被曝』(岩波ブックレット)、『放射線副読本すっきり読み
解きBOOK』、『AFTER TEN YEARS 福島原発事故から10年を問う』

単著に『原発からの命の守り方』(海象社)がある。

守田さんは方々で講演行脚されていますが、最新の情報
をもとに聴衆に原発のアップデートを伝えていきます。
一度二度聴いた、という人にも
耳新しい話がいっぱい

講演会終了後 第32回 左京革新懇総会を開催します。(4:00~4:40)

未加入の方も参加いただけます。各種の運動の交流もしますので未加入の方もご参加ください。